



# ベルーフ 事務所通信

発行：〒542-0081 大阪市中央区南船場4丁目1番20号 税理士法人ベルーフ 06-6253-5885

## 会計こぼなし「貸倒れの巻」：担当 岩岡 信介（いわおか しんすけ）

今回のテーマは、貸倒れです。日々の巡回監査で最近の経済情勢から、こういう話がこれからも多くなるだろうなと思い、テーマとして取り上げさせていただきました。



取引先から入金がないとか、払う払う」と言って結局また支払ってれない状況が続いているとか、そういう状況の中で、自分の会社としてはどうい対応をとるべきでしょうか？

ひとつの選択肢として損失として処理してしまう方法があります。あまり選ばない選択肢ですが、もう請求するもうざり電話するもうざり内容証明郵便を送ってもうんともすんとも言わないし、売掛金の時効は2年で法律で定められており相手先が時効だと主張しない限りは債権として請求可能ではありますが、もう後ろ向きな仕事はしたくないという時にやむなく選ばなくてはならない手段となりますね。この処理をする時に、税務上気をつけなければなりません。会計処理としては、貸倒損失として売掛金を消滅させれば良いのですが、この処理を簡単にしてしまうと税務上のリスクを残すことになります。

なぜなら、こちらの判断だけで処理をし、それをすべて損金として認めてしまうと、Aさんの判断とBさんの判断で差が出てしまいますよね？これは基本的な税法の考え方である課税の公平を欠くことになりますので、一定の要件を備えた時に損金として認めるといことになっているのです。（法基通9-6-1-3）

ではまず、一定の要件ですが、簡単に言うと

- 1 法律で切り捨てが決まった場合（会社更生法の開始、民事再生法の適用など）
- 2 売掛金・手形・貸金等色々な債権が対象で、全額回収できないことが明らかになった場合
- 3 売掛債権に関して、一年以上どうにもならない場合で、備忘価額（1円）を残して損金処理した場合

となります。

1の場合は、書類もきちん揃っているため処理もわかりやすく問題になることも少ないですが、2・3の処理をする時に、なんの資料もなしに損失処理してしまうと寄付金等の不利益な扱いを受けてしまうことになります。

ですので、2の処理をする時には、相手先が債務超過であることを確認しないといけません。損失処理をする事業年度の相手先の資料を揃えた上で判断をしなければならぬので、相手先の決算書・申告書控・試算表等を可能な限り集める必要があります。

3の処理に関しては、売掛債権に限定されており、一年以上取引のない状況について客観的な資料を残さないとはいけません。これには有効な資料として内容証明郵便があります。これは日付も残りますし、こちらにも確たる控えが残りますので有効な手段となります。相手が行方不明で郵便物が届かない場合であれば、宛先不明で返却されてきた郵便物を保存しておくこともひとつの手段となります。

税務調査でもこれらの書類がなければ損金算入の要件を満たさないと判断され、債権の回収ができないうえに、税務署にまで否認されて修正申告などの事態になってしまい、ほんとやっつけられませんので、慎重に書類を整備することをお勧めいたします！

## スタッフブログ「ほっと一息」：担当 小長野 裕基（こながの ゆうき）

『プチブーム』

みなさんこんにちは、小長野です。4月に入りようやく春らしいポカポカした陽気になってきました。

年が明けてこまであつと1週間に月日が流れ、会計事務所の一大イベントの確定申告も終わり、僕もようやくほっと一息ついているところです。



さて、最近僕の中でちょっとしたプチブームがあります。それはワインを飲むことです。

今は、だいたい月に3〜4本は飲んでます。（ただワインといってもロマネ・コンテや五大シャトーといったような高価なワインは、とてもじゃないですが手が出せないもので、一万円以下の手ごろなものですが。）

今までワインを飲んでみてもせいぜい年間2〜3本くらいだったのに、なぜワインを飲み始めたかといますと、今年に入ってから放送のあつた『神の雫』というドラマを観たことがきっかけです。

去年までは家でテレビを見るのがあまりなく、たまにテープに録画をしてもそれがたまる一方で、結局観ずに終わるなんてことがほとんどだったのですが、最近自宅に液晶テレビを買い、テレビ自体に録画ができるようになったことや絵がきれいということも影響して、今回は2・3つのドラマを観ることになりました。

そのひとつが今回のきっかけとなった『神の雫』というドラマでした。

どんなドラマかを簡単に説明すると、世界的に有名なワイン評論家を父にもつ主人公が、父の死により、養子の兄と数十億のワインとその他の遺産をめくり、ワインの銘柄と年代を当てる対決をしていくことがストーリーの主軸です。主人公は兄との対決を通じて、今まで飲まなかつたワインを飲み始め、ワインの世界にどっぷりはまっています。

そのドラマに登場するワインはなんと、聞いたことがあるような銘柄のワインが多く、素人の僕でもとても楽しめ、まんまとはまってしまいました。原作が漫画で今現在2巻くらい出版されていますが、ドラマを2話観た後、衝動買いで全巻そろえてしまいました。最近書籍を買うときは、アマゾンを使っているのですが、手早く注文ができるし、だいたい2〜3日後には届くのでかなり便利です。もともとほしいものはすぐにも手に入れたいタイプだし、実際に店頭に行く手間がない分、かなり衝動買いが増えています。（送料が1500円以上買うと無料になるという戦略にもまんまとはまっています。）

で、最近気づいたら部屋にアマゾンの箱が山積みになっていて、寝ている間に崩れてこぼれかか心配です。

こういうきっかけでワインをたくさん飲むようになったんですが、飲むにつれてなんとなく味わいや風味が分かるようになってきたかなと思います。また、自分が好きなワイン、苦手なワインも少し理解できるようになりました。これからも色々なワインを飲み続けていき、でもって将来は、給料もたくさん稼いで、高価なワインもたくさん飲んだり、自分のワインセラーも持ってみたいと思っています。

## ベルーフからのお知らせ：

ゴールデンウィーク期間中の営業について  
ゴールデンウィークが近づいてきました！  
今年は祝日と休日の組合せでは、週間以上の大型連休となる方も多いのではないのでしょうか？  
ベルーフでは、ゴールデンウィーク期間中は暦どおりに4月29日（水・祝）および5月2日（土）〜6日（水）をお休みとさせていただきます。  
なお、ゴールデンウィーク期間中のお問い合わせについて、祝日の都合上返答までお時間を頂戴する場合がありますので、あらかじめご了承くださいませようお願い申し上げます。

GW営業カレンダー

月	火	水	木	金	土	日
4月				5月		
27	28	29	30	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
○ 営業日    ● 定休日						